



「松戸事業本部の運営体制の見直しについて」 提案を受ける！

JR 東労組東京地本は、会社より表題の提案を受けました。会社は『グループ経営ビジョン「勇翔2034」の実現に向け、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築するとともに、社員が幅広い役割を柔軟に担い成長を実感することで、当社グループの持続的な成長につなげていくため』としています。

- ・実施場所・・・松戸駅
- ・実施内容・・・松戸駅の遺失物取扱所を中央改札に移転することで、遺失物取扱いと案内、異常時駆けつけ等の各業務を一体的に運営することができるようになることから、松戸事業本部の運営体制を見直す。
- ・実施日・・・2026年11月1日※工事工程等によりスケジュールが変更となる場合がある。
- ・その他・・・施策実施に向けて教育・訓練等の必要な準備を進めていく。

体制について(変更点のみ記載)

松戸事業本部	現 行		改 正
	一 般	交代	交代
		35	34(▲1)

松戸駅の作業ダイヤ本数について

松戸駅	現 行			改 正(予定)	
	一 般	変形	交代	変形	交代
		3	9	3	8(▲1)

※作業ダイヤについては今後勤務作成箇所において検討されるため、変更となる場合があります。

提案時の主なやり取り

組 合	会 社
● 松戸駅の改良工事はいつから計画されていたのか。駅の工事はいつ終わる予定なのか。 ● 工事の終了予定と施策実施日がずれている	● プレスを行ったのは2020年である。工事は2027年の春ごろに終了する。 ● 施策に関わる工事が終了し、提案した体制で松戸駅を運営する予定日が施策実施日である。施策実施日以降も駅改良工事は続く。
● 乗客(ホーム)担当が1徹減という理解でいいか。	● おおむねその通りである。
● 現行のホーム担当者の業務内容を示すこと。 ● 遺失の警察引き渡し業務は引き続き行うのか。 ● 現在の遺失対応件数は何件ぐらいあるのか。 ● 問い合わせなどデータに出ない部分は何件か。	● 早・遅2徹体制。通対や入区対応といったホーム業務全般と遺失物全般の業務、改札補助も行っている ● 警察対応は変わらず松戸が行う。 ● 平均で19件の登録と8件の引き渡しである。 ● 現段階で示せるものがない。
● 変更後のホーム担当の業務イメージを示すこと。	● 早寝を想定している。 出勤～昼頃・・・改札業務＋入区の内貫通 日中時間帯・・・警察対応も含めた遺失業務 夜間時間帯・・・遺失整理等 翌・・・エスカ立ち上げ等、改札業務、通対 今後変更となる可能性がある。
● ホーム社員が業務を行う場所は改札になるのか。 ● ホーム事務室に有人時間は作るのか。 ● 遺失のお客さま対応時間は変更するのか。	● 今後は改札事務室が執務場所となる。 ● 常時無人とする予定であるが建屋は残る。 ● 変更の可能性はあるが、提案後の体制でも変更せずに対応は可能だと考える。